

## 令和4年度山口県産業労働懇話会の概要について

### 1 開催日時

令和4年11月21日（月） 13：30～15：00

### 2 開催場所

県庁4階 共用第4会議室

### 3 出席者

労働者代表 長山委員、横山委員、倉重委員、田中委員、船岩委員

使用者代表 谷 委員、本多委員、坂本委員

学識経験者 中野委員

（以上15名中9名出席）

### 4 内容

「産業人材の確保について」をテーマとして意見交換を行った。

#### 〈主な意見等〉

- ・大学進学率が低かった昔と違って、現在は大学進学を優先する傾向があり、高校を出て技術を要する職に就く人が減っているが、インフラを整備し、医療・介護など人の世話をする人を育てる必要があるのではないかな。
- ・現在は高卒者を学校推薦で採用できているが、学校再編で数が少なくなると人材の確保に影響がでるのではないかな。また、最近の傾向として若者の価値観がお金よりも生活重視に変化してきており、三交代職場では、採用が難しくなるのではないかと心配している。
- ・中小零細企業の高卒者の人材確保が難しくなっている。県外への流出をどう食い止めるか、県外に出て行きっぱなしにならないよう、山口県の魅力をしっかり配信し、PRしてほしい。
- ・県や国において、様々な施策を行っていただいているが、市民・県民にうまく伝わっていないもっと広く周知する方法を考え、手続き等の簡素化も検討してほしい。
- ・生産年齢人口が減少している中で、企業規模が小さいほど、人材確保が難しい状況になっている。県内で必要とする産業人材が確保できない。今後は県外や外国からも確保していくという取り組みが必要になるのではないかな。また、業種ごとの対策も必要。
- ・現在デジタル化の推進により、様々な補助金の制度も充実しているが、そのデジタル化に対応できる職員がいらない。
- ・山口の銘菓として文化を守り職人を育てることは企業として大切な役割と考えているが、菓子製造は長年の経験が必要となり、職人への応募が少なくなっている。
- ・県外に出て行った若者が、山口県に帰って就職する理由として、今は仕事の内容、収入、家族のいる場所というのが当てはまらないのではないかな。
- ・中小企業・零細企業の賃金の問題や有給休暇や時間外労働の環境を改善しなければ、若者は県外に流出したままとなるのではないかな。
- ・全体的な取組や国等との連携が必要だが、その調整の要となって取り組んでいただきたい。